

氏名	赤木史郎
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博甲第961号
学位授与の日付	平成3年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系放射線医学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	肺サルコイドーシス症の局所肺血流異常の定量的評価の研究 — <sup>99m</sup> Tc-MAA肺血流シンチグラフィへの二次元極座標表示法の 応用—
論文審査委員	教授 木村郁郎    教授 寺本 滋    教授 菅 弘之

### 学位論文内容の要旨

肺サルコイドーシス症(肺サ症)23例に対し肺血流シンチを施行し、局所肺血流異常の定量的評価のため二次元極座標表示法を応用した。血流低下の指標として extent score (ES), severity score (SS) の2つの指標を算出して検討を加えた。対象23例中16例(70%)に有意な血流低下が検出され、Ⅱ期群ではⅠ期群に比しES, SSとも有意に高値であった。経気管支肺生検組織像との比較検討において、ES, SSの値と胞隔炎の程度は相関し、ESと血管炎の程度とも相関が認められた。臨床検査成績との比較検討では、ESと血清アンギオテンシン変換酵素値との間、およびSSと気管支肺胞洗浄液・CD4<sup>+</sup>/CD8<sup>+</sup>比との間に有意な相関が認められた。肺サ症の局所肺血流異常の定量的評価に二次元極座標表示法は有用と考えられ、血流低下の発生機序として、組織学的には胞隔炎、血管炎の存在が重要な要因と思われ、先行する換気障害の存在も血流低下に関与していることが示唆された。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は肺サルコイドーシス症の局所肺血流異常の定量的評価について<sup>99m</sup>Tc-MAA肺血流シンチグラフィに二次元極座標表示法を応用して研究したものであるが、従来十分検討されていない本症の進行経過に対してその判定に有意義であることがわかり、又血清ACE 或は BALF 中の CD4 /CD8 比との間に有意な相関を認めるなど重要な知見をえたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。